



【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

<ふれあい・人権の集い 2025> ～3名の1年生が人権作文を発表してくれました～

12月13日(土)に、丸子文化会館セレスホールで「第53回ふれあい・人権の集い 2025」が開催されました。丸子・武石地域の小中学生や教員が参加し、人権教育に関わる各校の取組を発表し合ったり、作文を発表し合ったりして、参加者の人権意識を高めることを目的として、毎年開催されている行事です。

本校から3名の1年生【(牛久保 海耀さん「同じ色とちがう色」/西沢 美佳さん「多様性の尊重」/田中 快青さん『「当たり前」ではない「当たり前」』】が作文発表者に推薦され、北中を代表して参加しました。私も参加し、代表の皆さんの発表を参観しましたが、人権について深く考えさせてくれる内容にとっても感銘を受けました。代表の皆さんは、家庭でも発表の練習を何度もしてきたことと思います。自信をもって声量豊かに発表する姿がその成果を表していました。体育館より広いホールでの大勢の参加者を前にしての発表には、相当なプレッシャーがかかったと思いますが、それを感じさせないほど立派な姿でした。代表生徒皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。

小中学生の発表の後は、丸子修学館高等学校の生徒による「eスポーツ交流会の実践発表」と「講演会」がありました。高校生の皆さんは、映像や画像を用いながら分かりやすく発表してくれました。私も「eスポーツ」には関心があるので、趣味の一つに加え、若い人たちと交流したいという気持ちになりました。講演会の講師は、凶鑑製作者の「丸山貴史」氏でした。『ざんねないいきものの残念じゃない進化～いのちのつながりの大切さ～』と題して、お話ししていただきました。いきものの残念なポイントについて学ぶことができ、また、人間もいきものと同じように、色々な場所や環境に適応するために進化をしていくというお話に勇気をいただくことができました。

※丸山氏は「R1 グランプリ」というピン芸人日本一を決定する大会に出場し、2回戦へ進んだという事実には驚いてしまいました。2回戦で予定をしているネタを披露していただき、少しお得な気分になりました。勝ち進んでいくことをお祈りしています。

※セレスホールの入口には、本校の生徒(24名)の人権標語が展示されていました。どの作品もよく考えられていて、北中生のもつ優れた発想力と思考力に嬉しさいっぱいになりました。

<ご連絡・お礼>

- ・保護者の皆様には、ご多用の中、12月4日(木)～10日(水)の個別懇談会(三者懇談)にお越しいただきましてありがとうございました。お話しいただきましたことは、今後の学校でのお子さんの支援に生かして参ります。時間が短く、十分にお話ができなかったという方もいらっしゃるかもしれませんが、遠慮なさらずに、担任と連絡を取り合ってくださいと思います。お子さんの成長のためには、ご家庭と学校との連絡・連携が不可欠です。今後ともご協力いただくことが多くあろうかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。
- ・長野県内ではインフルエンザが猛威を振るっています。インフルエンザ警報も発令され、今も解除されていません。本校でも、1学級が閉鎖となりました。お子さんが「感染症にかからない」「感染症をうつさない」ように、ご家庭でもご協力いただきたいと思います。

